## 令和6年度 第3回大野市公共交通活性化協議会

## 議事録概要

〇日 時: 令和6年11月19日(火)14:10~16:00

○場 所:結とぴあ302号室

### ◆次 第

開会

会長挨拶

### 2 報告事項

### (1) 令和6年度公共交通の利用実績(中間報告)について

事務局から、資料1について説明後、各運行事業者から状況説明

事業者:まちなか循環バスについて、大野高校生の利用が増加している。新幹線延伸後の効果も 見られる。10月から星ぞら号を運行している。ポンチョは低床であるため、降雪時に 活用する見込み。例年のお願いになるが、スムーズな運行のため、冬季の除雪について

しっかりとお願いしたい。

事業者:乗合タクシーについて、利用者数に会員制の結果が思うほど出てきていない。引き続き

利用者目線で運行したい。

事業者: 市営バス和泉大野線・和泉乗合バスについて、観光客利用が増加している、 J R 越美北 線が運行していない時間帯に利用がある。補完機能を果たしている。和泉地区の住民に も浸透してきている。

### (2) 京福バス大野線および勝山大野線のダイヤ等改正について

・事務局から当日資料1について説明後、京福バス株式会社および大野観光自動車株式会社から状況 説明

事業者:運転手不足が原因で減便となった。2024年問題も原因であったが、先日、監査が入り、 問題なしということであった。引き続き運転手の確保に努めたい。

また、大野線の路線の一部を大野観光自動車株式会社に受けてもらったことについて、 御礼申し上げる。

ダイヤは平日3割、休日で6割を減便した。これに対し利用者数は、平日3割減、休日 3∼4割の減少。通勤2割減、通学4割減。減少分は、自家用車またはJR越美北線を 利用していると推察している。

また、JR越美北線の定期保有者への運賃割引制度について、のぼりの便でも使えるよ う拡充した。

勝山大野線については、12月1日から、大野に向かう朝の一便目だけルートを変更し、 大型車を導入する。

事業者:大野線、勝山大野線を実際に運行している。日中は済生会病院発着にしてもらった。済 生会の乗り換えについてはスムーズ。福井発最終は17時半、JR越美北線が代替にな っているのか気になっているところ。勝山大野線のルート変更については、当社からの お願い。利用者が多く大野高校到着が遅れることが原因。各高校には周知をお願いした い。また、4月からは、大野高校前にルートを変えたものの、保護者の送迎の車が危険な ケースがあるので、通学の際のマナー周知をお願いしたい。

意見:この影響に関して、JRとして数字は把握していないが、(利用者が増えすぎて) JRに ご乗車いただけない方が出ているという状況はない。

### (3) 共助型移動支援の実証実験について

・事務局から資料2について説明

意見:市内には8の第2層協議体が存在している。「地域づくりの使者」と呼んでいる。委員の皆さまにご紹介したい。

### 3 議題

### (1) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業) について

・事務局から資料3について説明

意見:中部様式に関して、幹線路線についての言及をしてほしい。二次評価に関して、事業評価の部分で、大野線の見直しで取り組んだことを記載するとよい。大野市の頑張りをアピールしてもらえばよい。また、勝山大野線についても、利用者の利便性を考慮し、随時変更するなど路線維持のために取り組んでいることを記載してもらうといい。

会長: ただいまのご意見など適宜修正するとして、この内容で承認としてよろしいか。

### 異議なし

### 4 その他

### (1) 令和7年度事業(案)について

・事務局から資料4(非公開)について説明

意見:市営バス下庄線とスクールバスとの整理をしてほしい。また、免許返納の特典については、市内だけでなく、県内に拡大してほしい。福井県の運転士の待遇改善施策で洗車機の購入に対し補助してもらった。この場を借りて御礼申し上げる。

#### (2) 日本版ライドシェアの実証事業の実施について

・大野旅客自動車有限会社から自家用車活用事業の内容および実証事業の状況について説明。 加えて運転手募集説明会について紹介

質問:台数は何台か。車両にはライドシェアのステッカーを貼付しているということか。 説明:台数は1台。ライドシェア車両と分かるステッカーを貼付している。

### (3) JR越美北線利用促進イベントの実施について(報告)

・事務局から資料5について説明

意見:多くの方に楽しんでいただけた。利用のきっかけづくりになったと感じている。事

業の継続という点では、地域の方に興味を持っていただき、さらに課題について考えてもらう機会となり、それが利用促進につながるような形で継続していけたらと考えている。

## 5 閉会

一以上一

# 【会議の様子】



